

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

母力フェで親子撮影会
@森林セラピー

11月10日に森林セラピーコラボ企画「母力フェで親子撮影会」を開催しました。



この企画、数年前から企画していましたが、度重なる悪天候に悩まされ、今回が初の開催！当日は秋晴れの中、飯南町ふるさと森で親子写真撮影会と母力フェを行い、お弁当タイムを挟んで森林セラピーを体験していただきました。

普段のスタジオとは違ってかわって、自然の中での撮影会では子どもたちも緊張が解け、自然体な姿を見せてくれました。母力フェでは、パパママの情報交換や交流を行い、森林セラピーでは紅葉に色づく森を散策しました。

全国的に見ても「森のようちえん」や「木育」等の自然教育にも注目が集まってきています。「森での自然教育」はどこでもできるわけではありません。飯南町にはその可能性が十分あると感じます。

第2回森林セラピー研究会に参加

11月30日、12月1日に横浜市の「上郷・森の家」で開催された「第2回森林セラピー研究会」に参加しました。全国津々浦々から約50人の参加があり、日本・海外の森林セラピーの動向や最新研究、企業向け森林セラピープログラムなどを学びました。

特に参考になったのは、企業の福利厚生での活用が期待されるメンタルヘルス対策としての森林セラピー活用です。4人から6人のチームで、普段の印象を取り払い、新しい視点で相手を見つめるプログラムでした。その中で重視される「心理的安全性」という言葉は「自分の意見や立場を安心して表現できる状態」を指し、学校や職場、家庭などさまざまなシチュエーションで大切な事だと感じました。次回第3回は、来年5月16日から18日に飯南町で開催です。実りある会となるよう準備を進めていきます。



こんにちは
中山間地域研究センターです。

元気な地域をつくるための
鳥獣被害対策

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



島根県の野生鳥獣による農林作物被害額は、イノシシの被害を中心に、この10年間概ね7～8千万円前後で推移しています。また、令和5年に中山間地域の全集落を対象としたアンケートでは、「困りごと」として「鳥獣被害の増加」を挙げる集落の割合は半数を超えており、鳥獣被害対策は農林業関係者に限定されたものでなく、集落全体の問題として住民意識が高まっていることがうかがえます。

鳥獣被害から効果的に集落を守るには、従来の農家や営農組織などが個別に行う対策では限界があります。鳥獣被害の現状・課題について非農家を含めた地域全体（地域ぐるみ）で把握、共有し、鳥獣の餌となってしまう生ゴミや、放置されている果樹の伐採など、鳥獣を集落に

引き寄せない対策を行うことが重要となります。

当センターでは、各地域で実施される被害対策の参考となるよう「元気な地域をつくる鳥獣被害対策支援ガイドブック」を作成しました。このガイドブックでは、皆さんの地域での被害や対策の現状・課題、実施体制や、対策への住民意欲などについて診断シートを用いて客観的に把握し、掲載している取組事例を参考に、自分たちの集落でできる取組についてご検討いただくことができます。定期的に地域診断を行うことで、被害対策をステップアップしていくことも可能です。

このガイドブックは、今後も内容の充実、事例の更新、追加を行う予定ですので、ぜひご活用ください。内容について、皆さんからのご意見をお待ちしております。

問合せ 鳥獣対策科 ☎76-3818

今回紹介したガイドブックは、中山間地域研究センターのHPで公開しています。



地域ぐるみで行う電気柵の設置



野生鳥獣を集落に引き寄せる誘因物の除去



地域で協力して実施する加害個体の捕獲

短歌

赤名短歌会 十月例会詠草



うたかたの夢まぼろしとしりつつもやがてはきゆる華紅葉かな

清原 豊明

秋たけて狭庭彩る菊の花有終の美を飾りて咲くや

吉川 暎子

秋天をふくごと窓をふいておりコーヒーの香のただよう朝

澤田久美子

久々に娘の店に髪摘みに笑顔に会いますがし秋の日

門所 詠子

県境に熊に似ている株根っこ連れてかえれと父夢枕

澤田 勝登

秋高し思わず三回深呼吸す今日は父母の結婚記念日

星野 敦子

たった今生まれし蟻螂はカマキリの顔して鎌を振り上げている

石田フクエ

目を細め小雨の中をひた走る行く手にカラスきよとんと立てり

烏田 勝信

倅の青い小鳥が何処より現れ倅を我に誘う

本間 麗子

やすらぎに

11月届出分

お名前	親族	地区
奥野ミキエ様 (89)	清	敏下赤名
渡部 峯世様 (95)	弘	敬町区
戸谷 照様 (91)	菊	美寺沢
錦織 良様 (74)	主	(獅子)
田桑 文子様 (94)	克	己(谷)
小林 菊枝様 (103)	伸	之町区
長島 淳二様 (52)	博	美町区
諏訪部邦子様 (100)	吉	正町区
肉戸 ケフ様 (101)	政	美(上赤名)
塩田ヤスエ様 (92)	藤川佳成(野萱)	

今日の人権標語

令和5年度
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

大丈夫？
その一言で
救われる

頓原中学校 1年 難波 夏生さん
家族名 耕司さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

「飯南町消防団」

赤名コミュニティ消防センター前で、第1分団員がホース巻きを行いました。

消防団は、火災や災害発生時に迅速に出動するため、普段から消防車両やホース、備品等の定期点検をしています。

出動時には緊張感を持って作業にあたりますが、消防車両を降りると、和やかな雰囲気。いざという事態に備えます。

